

**「車いす空の旅 沖縄」招待者をお見送り
～ボランティアとして県遊協職員も参加～**

神奈川県福祉事業協会会長でもある神奈川県遊技場協同組合・平川正寿理事長は、車いす生活の障害者とその家族 20 組 43 名、ボランティアの方々など総勢 74 名が、羽田空港から沖縄に旅立つにあたり、旅行の無事と、お天気に恵まれることを祈って、お見送りしました。

1. 日 時 平成 20 年 4 月 10 日（木）午前 9 時 40 分～

2. 場 所 羽田空港第 1 ターミナル出発ロビー

3. 概 要 この、お見送りについては、神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に、昭和 60 年から毎年 300 万円の支援を続けてきていることが経緯となっています。

集まった参加者や家族、ボランティアの方々は、互いにあいさつを交わしながら、沖縄の旅に期待を膨らませていました。

出発を前に平川理事長は「沖縄はきれいな所なので、おいしい空気を吸って楽しい思い出をつくってきてください。」とあいさつ、参加者と談笑の中、車いすを押しながらお見送りをしました。

今回ボランティアとして参加することになった神奈川県遊技場協同組合職員 Y さんは、「初めての経験で行き届かないことがあるかも知れませんが、参加者の皆さんと一緒に、楽しい旅ができるよう精一杯頑張ります。」と笑顔で話してくれました。

なお、この「車いす空の旅」については、4 月 11 日付及び 4 月 13 日付 神奈川新聞に、それぞれ掲載され、また、5 月 6 日付特集記事にも紹介されました。



出発ロビーにてあいさつする平川理事長



車いすを押ししてお見送り